

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 <input type="checkbox"/>	スプリングコンテストやペットロボットについての会話から、必要な情報を聞き取り、話しの展開や話し手の意図を把握することができる。	S1,S3	考査	1	ア
	L2 <input type="checkbox"/>	社会的な問題についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報の詳細を聞き取ることができる。	S8,3	考査	1	イ
	L3 <input type="checkbox"/>	世界の独特な税についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報の詳細を聞き取ることができる。	9	考査	3	イ
Reading	R1 <input type="checkbox"/>	プラシーボ効果や地雷探知ネズミについての記事から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。	S6,S7	考査	1	ア
	R2 <input type="checkbox"/>	英語のつづりの特徴や学校の昼寝の時間導入の是非についての記事から、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を捉えることができる。	5, 8	考査	2	イ
	R3 <input type="checkbox"/>	犬税を導入することの是非についての討論の内容から、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を捉えることができる。	9	考査	3	イ
Speaking Interaction	SI1 <input type="checkbox"/>	値段が設定されていないカフェについての新聞記事をもとに、値段が設定されていないものを買うことの利点、欠点について話し合う。	1	インタビュー テスト/考査	1	ア
	SI2 <input type="checkbox"/>	折り紙がもたらす効果についてのプレゼンテーションをもとに、趣味がもたらす効果について話し合う。	4	インタビュー テスト/ロール プレイング/ 考査	2	ア
	SI3 <input type="checkbox"/>	ナスカの地上絵の研究において、AIの活用によって最近発見された事実を参考に、AIが我々の生活に今後与える影響を話し合う。	6	インタビュー テスト/ロール プレイング/ 考査	2	イ
Speaking Presentation	SP1 <input type="checkbox"/>	世界の食物不足に対応した昆虫食についての記事をもとに、日本の食糧自給率を上げるためにできることを考え、発表することができる。	S4	スピーチ	1	ア
	SP2 <input type="checkbox"/>	どのようなアップサイクル製品に興味があるかについてグループで話し合った内容をもとに、多様な語句や文を用いて、論理的に情報や考えを発表することができる。	7	スピーチ	2	イ
	SP3 <input type="checkbox"/>	宇宙開発についての事実と意見の書かれたブログを読み、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に詳しく発表することができる。	10	スピーチ	3	イ
Writing	W1 <input type="checkbox"/>	自分の街を緑化する方法や日本の伝統行事について、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。	S2, S5	考査/エッセイ ライティング	1	ア
	W2 <input type="checkbox"/>	試行錯誤を繰り返すことの利点について、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を適切に用いて、複数の段落からなる文章を論理的に詳しく書いて伝えることができる。	2	考査/エッセイ ライティング	1	イ
	W3 <input type="checkbox"/>	学校に昼寝時間を導入することの是非について、多様な語句や文を適切に用いて、複数の段落からなる文章を論理的に詳しく書いて伝えることができる。	8	考査/エッセイ ライティング	2	イ

※左のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	学 年:	3年
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	S1 S3	L	ア	考查	L1□	スプリングコンテストやペットロボットについての会話から、必要な情報を聞き取り、話しの展開や話し手の意図を把握することができる。
	4	S2	W	ア	考查/エッセイライティング	W1□	自分の街を緑化する方法について、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。
	4	S4	SP	ア	スピーチ	SP1□	世界の食糧不足に対応した昆虫食についての記事をもとに、日本の食糧自給率を上げるためにできることを考え、発表することができる。
	5	S5	W	ア	考查/エッセイライティング	W1□	日本の伝統行事について、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。
	5	S6 S7	R	ア	考查	R1□	プラシーボ効果や地雷探知ネズミについての記事から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。
	5	S8	L	イ	考查	L2□	社会的な問題についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報の詳細を聞き取ることができる。
	6	1	SI	ア	インタビュー/調査/レポート	SI1□	値段が設定されていないカフェについての新聞記事をもとに、値段が設定されていないものを買うことの利点、欠点について話し合う。
	6	2	W	イ	考查/エッセイライティング	W2□	試行錯誤を繰り返すことの利点について、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を適切に用いて、複数の段落からなる文章を論理的に詳しく書いて伝えることができる。
	7	3	L	イ	考查	L2□	社会的な問題についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報の詳細を聞き取ることができる。
2	9	4	SI	イ	インタビュー/インタビュー/グループ/ルー/考/プテ	SI2□	折り紙がもたらす効果についてのプレゼンテーションをもとに、趣味がもたらす効果について話し合う。
	10	5	R	イ	考查	R2□	英語のつづりの特徴についての記事から、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を捉えることができる。
	10	6	SI	イ	インタビュー/インタビュー/グループ/ルー/考/プテ	SI3□	ナスカの地上絵の研究において、AIの活用によって最近発見された事実を参考に、AIが我々の生活に今後与える影響を話し合う。
	11	7	SP	イ	スピーチ	SP2□	どのようなアップサイクル製品に興味があるかについてグループで話し合った内容をもとに、多様な語句や文を用いて、論理的に情報や考えを発表することができる。
	11	8	R	イ	考查	R2□	学校の昼寝の時間導入の是非についての記事から、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を捉えることができる。

	12	8	W	イ	考査/ テセ イ ン グ イ	W3□	学校に昼寝時間を導入することの是非について、多様な語句や文を適切に用いて、複数の段落からなる文章を論理的に詳しく書いて伝えることができる。
3	1	9	R	イ	考査	R3□	犬税を導入することの是非についての討論の内容から、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を捉えることができる。
	1	9	L	イ	考査	L3□	世界の独特な税についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報の詳細を聞き取ることができる。
	1	10	SP	イ	スピー チ	SP3□	宇宙開発についての事実と意見の書かれたブログを読み、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に詳しく発表することができる。

英語コミュニケーションⅢ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
話すこと [やり取り]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
話すこと [発表]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。